



劉 鵬飛 (リュウ ホウヒ) さん

出身国：中国山東省

出身大学：埼玉工業大学大学院

専攻：工学研究科システム専攻

内定先：日本電産コパル(株)

□日本に留学した動機

私は、小さい頃から日本のアニメとかドラマを見て育ちました。特にアニメの影響を受けたと思います。スラムダンクとか名探偵コナンのような…。そして日本語に興味を持つようになり、日本に行ったらもっとアニメを見られると思ったのも日本に留学した理由かもしれません。

□日本で就職する理由

せっかく日本に留学したので、日本で就職して日本の会社の管理の仕方や技術、社風、人との付き合い方、チームワークなどを学びたいと思いました。そういうものを身につけた後、将来は中国の子会社や工場などに出向して管理職に就きたいと思います。

中国に比べると日本はドロボーも少ないし、事件も少ないし、安全だと思います。

□現在の就職先の選択理由

理由としては、まず内定した会社が大企業だからです。大企業で自分の力を試してみたい、頑張ってみたいという気持ちがありました。次の理由は、大企業には、歴史があります。そしてその歴史の中で培われたルール、習慣、管理、技術、チームワーク、人間性、社風等があります。そういう大企業でなければ身につけられないようなものを勉強したいと思いました。

□企業への自己PR、アピールポイント

まずは、会社のHPをちゃんと読むことです。そして、会社の歴史や仕事についてよく理解する必要があると思います。次に、その会社に対して自分の良いところ、自分を採用するメリットを探し、集めてアピールしました。

たとえば、私はもともとIT系の人間です。2013年、大学院1年生のときにある機械をコントロールするシステムを開発しました。私は、面接のとき、この技術と経験が、

会社で活かせることをアピールしました。また、私は、自分の論文を海外のコンファレンスで発表した経験があります。その経験が、会社のグローバル化の役に立てることもアピールしました。

□就職活動開始時期と応募企業数

最初は、2013年、大学院1年生の12月からです。友達からの誘いで外国人向けの合同会社説明会に参加しました。本格的に始めたのは、2014年の4月からです。

- ・エントリー 約30社、
- ・面接 約20社

面接が苦手がよく落とされました。緊張して話せないし、苦しかったです。緊張しすぎて頭が真っ白になることがよくありました。(笑)

□具体的な就職活動内容

マイナビ、リクナビ、大学に登録して会社の情報ももらいました。私は理系なので卒業研究もありましたので、会社説明会の時間と大学のゼミの時間をうまく調整しなければなりません。GGSは、大学の掲示板で見つけた「世界へのトビラ」の外国人講師募集のポスターで知りました。面白そうだったのでさっそく講師登録に行ったら、留学生の就職の紹介もしていることを知り、そちらにも登録したのです。

□GGSに登録して役に立ったこと、または心に残るアドバイス

たくさんあります。最終面接でよく落ちていたので、どうしたらいいのか悩んでいました。そんなとき、こちらに相談に来て、いろいろアドバイスをもらいました。緊張しないで済むように、よく聞かれることはQ&Aを作って準備しておくことや、自分に自信を持つこと、そして胸を張って大きな声と笑顔で臨むことなどです。



□事前準備、企業研究

前述したように、会社のHPを事前ちゃんとチェックして、会社の歴史や仕事についてよく理解しておくように努めました。また、自分の強み弱みを知り、会社に対して自分の良いところ、自分を採用するメリットを見つけるようにしました。

□エントリーシート、履歴書

自分の書いたものを大学の先生やGGSの方にみてもらい、おかしい表現や日本語になっているところを直してもらいました。

□面接での注意点

緊張しすぎないことです。そのために、Q&Aを準備することはいいと思います。また、聞かれたことに対してはなるべく簡潔に答えることを心がけました。

なぜかというと、私は外国人ですから、長く話せば話すほど、どうしてもボロが出てしまうと思うからです。また、面接官の方も、長く話しているうちに相手が外国人である

ことを忘れて、日本人のように話してきますので、よけいわからなくなってしまう。

□抱負と将来設計

内定した会社は、グローバル企業で世界中に展開しています。私は将来一人前の技術者になったら、中国に限らず、日本語、英語などの言葉を活かしてグローバルに活躍できるようにになりたいと思います。そして、それぞれの国や地域に合った製品を開発して会社や社会に貢献できるようにになりたいと思います。

□後輩へのアドバイス

やはり、最後まであきらめないことだと思います。あと、一人で悩まないことです。何か落ち込んだり、悩んだりすることがあったら、学校の先生でもいいし、GGSでもいいし、とにかく相談することです。そして良いと思ったらすぐ行動することです！

□GGS から一言

劉 鵬飛さんが内定を勝ち取った会社は、東証一部上場の精密機器メーカーで、いわゆる人もうらやむ大企業です。でも、そこにたどり着くまでには、たくさんの失敗や挫折がありました。

とてもシャイで人見知りする性格のため面接が苦手な劉さんが、それでも最後に良い結果を得ることができたのは、一人で悩まずGGSなどに面接のコツを学び、自分の強みである研究成果や技術力を面接でちゃんとアピールできたからだと思います。

劉 鵬飛さん、就職内定おめでとうございます！